

Tom-Pac[®] トムパック

用途に合わせ3種類の中から
お選びいただけます



ポンプへの使用目安

バルブへの使用目安

汎用タイプ Tom-Pac TP-4000

汎用性の高い不定形シール剤

適用

廃水スラリー、汚泥、油
カーボン粉末等
ポンプ、スクリーコンペアー、
バルブ etc

ボックス内部圧 1.3MPa

耐熱温度

推奨
-17℃~260℃
使用限界 315℃

ph 2~12

ボックス内部圧 7.2MPa

耐熱温度

-17℃~205℃

ph 2~12

白色タイプ Tom-Pac TP-5400

白色の不定形シール剤

適用

食品、医薬品、化学製品等の
ポンプ、バルブ、真空反応釜、
ロータリーバルブ etc

ボックス内部圧 1.3MPa

耐熱温度

-17℃~260℃

ph 2~13

ボックス内部圧 7.2MPa

耐熱温度

-17℃~205℃

ph 2~13

耐薬品タイプ Tom-Pac TP-4800

耐薬品性に優れた不定形シール剤

適用

化学薬品等の攪拌機、反応釜、
スクリーコンペアー、
ポンプ、バルブ etc

ボックス内部圧 1.5MPa

耐熱温度

-17℃~260℃

ph 0~14

ボックス内部圧 7.5MPa

耐熱温度

-17℃~260℃

ph 0~14



トムパックに関する詳細情報
<https://www.sanaru.co.jp/qr/im/001.html>



トムパックご紹介動画
<https://www.sanaru.co.jp/qr/im/002.html>

製品に関するお問い合わせは、弊社営業担当まで、お気軽にお問い合わせください。

日本総販売元
株式会社 佐 鳴
SANARU www.sanaru.co.jp

〒245-0053 横浜市戸塚区上矢部町 2091-19
TEL.045-811-9311〈代〉 FAX.045-811-9319

Registered Trademark © SANARU COMPANY LIMITED.

Injectable Sealing compound 交換不要の**不定形**軸封シール剤

Tom-Pac[®] トムパック



トムパックは、交換作業の手間を軽減できるグランドパッキンの代替製品です。

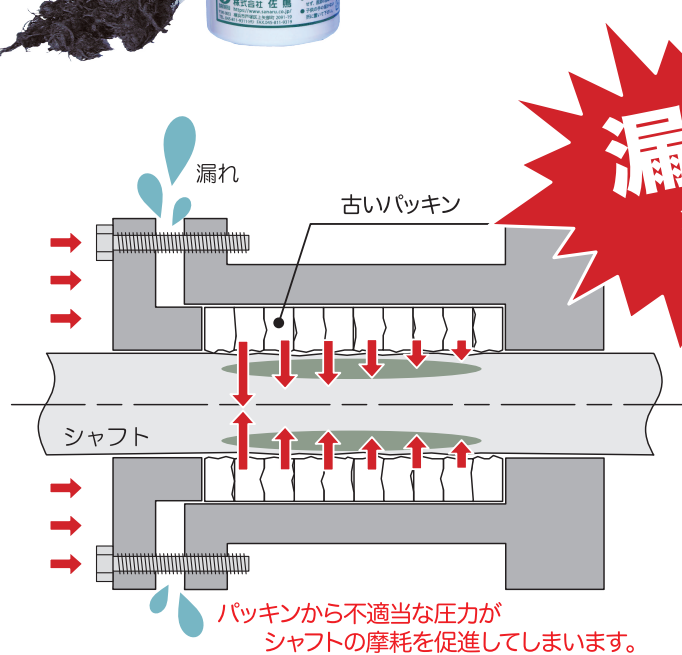
不定形の繊維状シールなので、あらゆるポンプ・バルブに適合し、摩耗したシャフトやスリーブにも使用できます。工場設備のメンテナンスコストの大幅削減に貢献いたします。

Tom-Pac® トムパック

安全で長持ちする 革新的な軸封シール剤



メンテナンスコスト削減の決め手！



漏洩発生

ご準備いただく物

- Tom-Pac
- ガasket、もしくはグランドパッキン
- パッキングツール
- その他工具類

- 充填方法は簡単です。以下の基本的なステップに従ってお進めただけで、短時間に完璧な作業を行えます。
- その上、メンテナンスも極めて簡単ですから、これまでのような手間がかからず、目に見えない作業コストも押さえることができます。

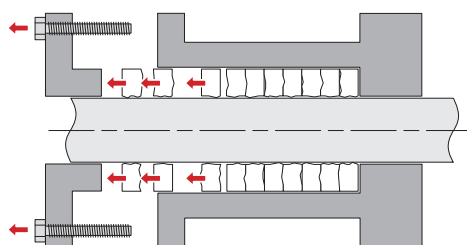
パッキンから不適当な圧力がシャフトの摩耗を促進してしまいます。

充填の手順

STEP 1

■ 古いグランドパッキンを全て取り出します。

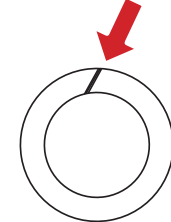
ランタンリングの奥も出来るだけ抜いて下さい



STEP 2

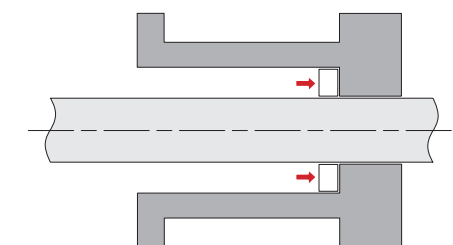
■ ガasketは、予めサイズに合わせて切っておきます。

1ヶ所スリットを入れて下さい



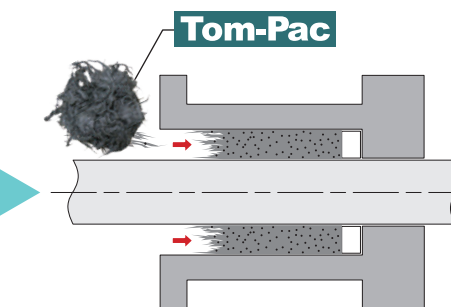
STEP 3

■ ガasketをドライバー等を使って奥まで押し込んで下さい。スラリーなどの場合は、ガasketを2~3枚入れておくとも層効果的です。



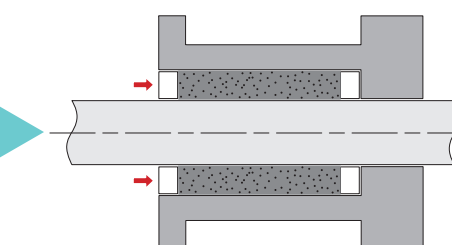
STEP 4

■ Tom-Pacを充填します。
● 均等に押し込んで下さい。



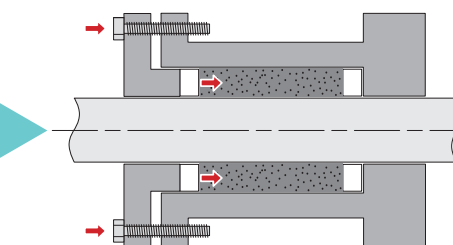
STEP 5

■ グランド押さえ側にガasketを充填します。



STEP 6

■ グランド押さえを締め込みます。
● ナットが緩まない程度で、初期の締め込みをします。
● その際、グランド押さえのナットは左右均等にかけして下さい。
● 締めすぎますと発熱しますので注意して下さい。



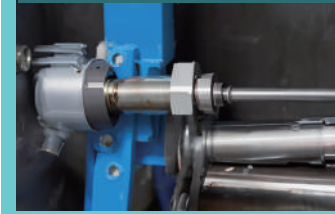
ガasketの選び方について

- スラリーや粉体の場合には基本的にガasketパッキン（シートパッキン）をご使用下さい。
- 水や油など、液体の場合は、グランドパッキンをガasketの代わりに使用して下さい。
- 元々のグランドパッキンの巻数が合計で4本以下の場合には、ガasketを使用して下さい。ガasketの材質は特に指定ありません。テフロンシートなど加工性の良い物をお勧めいたします。なお、シートの厚みは3mm以上のものを推奨します。

メンテナンスについて

- メンテナンス方法は、基本的にグランドパッキンと同様です。増し締めの際は、左右均等に締め込んで下さい。
- 締め込む際は、1/6 ナット分ずつ慎重に行ってください。漏れが発生した場合は、できる限り早めに増し締めを行ってください。長期間放置しますと、その後のシール性に悪影響を及ぼします。
- 締めしろがなくなった場合は、本品を少量補充してください。
- 締め過ぎなどによる発熱が発生した場合でも、運転が安定するとそのまま治まるケースもございます。しばらく様子を見て、改善しない場合は少しナットを緩めてください。

Tom-Pac シャフトを傷めません



- トムパックは、アラグラフィ繊維に潤滑剤を含有した不定形シール材で、高温・高圧環境下でも優れたシール性能を発揮します。
- シャフトを均一に包み、その高い摺動性で摩耗を防ぎます。
- シャフトへの負荷を低減し、省エネ効果も期待できます。

Tom-Pac 幅広い用途に使用できます



- トムパックには、「汎用タイプ」、「白色タイプ」、「耐薬品タイプ」の3種類があり、用途に合わせてお選びいただけます。
- 液体だけでなく、気体や粉体、食品分野にも幅広く使用できます。

Tom-Pac メンテナンスコストの削減につながります



- トムパックは不定形ですので、グランドパッキンのようにサイズごとの在庫を持つ必要がないため、管理コスト削減に貢献します。
- 現場作業時に、特別な専用工具が不要なため、高価な道具のコストを削減できます。

充填完了

- 運転を開始して下さい。
- 充填が不均一の場合は漏れが生じます。その際には1/6ナット位ずつ締め込んで下さい。
- 締め込んでトムパックの量が不足した場合は少量補充して下さい。

